

60号 還暦特集

60歳を迎えた市民へインタビュー

香取市が誕生して15年。かとり市議会だよりも今号で60号を迎えました。そこで、60歳を迎えた市民の皆さんから還暦を迎えての心境や日頃の市議会への思いなどを伺いました。

さくま はつえ 佐久間 初恵 さん(小見川)

団体職員

街

街が広く、広く地域の情報を得られるようになった反面、支所では手続きができなくなったりと不便を感じることもあります。議会の活動を知ってもらうには、議員が地域の集会などに出向くことが必要だと思います。世間話ができる気軽な雰囲気なら、日頃の要望なども気兼ねなく話せます。今後は体力もまだまだありますので、健康に気を付けて、仕事や趣味などを通じて地域の皆さんと関わっていききたいです。



たかの ひろひこ 高野 洋彦 さん、えつこ 悦子 さん(高野)

農業 & 音楽愛好家

市

議会だよりは、議会や議員の考えなどに興味を持つ一歩になっていて、と思っていますが、合併して市としてはアツトホーム感がなくなりました。出演者として児童館の催しなどに参加しています。地域のイベントは出演者側にもかかげえのない「恵み」を与えてくれますので、続けてほしいですね。今後は、体調にも気を付けてながら動画配信や新たな分野でのバンド結成など、新しい音楽活動にチャレンジしたいです。



香

取市は都心からも近く、便利で住みやすい街です。議員はもっと情報発信にインターネットを活用すべきだと思います。ネット検索で情報が出てきません。私自身、常に情報を取り入れ、改善しながら店舗経営に励んでいます。今回のプレミアム付き商品券の販売は、大変好評で、新規のお客様にもつながりました。市には今後も地域経済発展のため、地元にお金が流通する仕組みを作ってほしいですね。

みやざき こういち 宮崎 浩一 さん(小見川)

ギフトショップ経営



合

併して良かったことは、地元が大きくなったことです。議会とは、市議会だよりを見るくらいに関わりませんが、地元や仕事に関する教育、福祉関係の記事などを興味深く拝見しています。議員とは学校行事などでお会いしますが、話す機会は少ないため、要望などを聞いてくれる機会ができるとうれしいです。今までは仕事ばかりでしたので、還暦を迎えて、健康、体を大切に、これからは趣味を見つけていきたいと思っています。



えんどう はつえ 遠藤 初江 さん(大角)

小見川東小学校事務

さかもと きょうこ 坂本 恭子 さん(佐原イ)㊦

かとり くにこ 香取 邦子 さん(多田)㊦

水郷佐原観光協会仲よし同僚

議

員には市民の代表として、住みやすい、よい社会をつくるってほしいですね。特に、医療の充実と観光エリアの拡充を望みます。仕事で携わる観光事業では、合併により特産品や農産物が増え観光客の誘致につながっていると感じる一方で、「子どもが遊べる場所」を望む声もあります。市内の魅力的な場所を生かした公園や体験型の観光スポットが必要だと思えます。今後も健康に気を付けて観光という大好きな仕事を続けていきたいです。



合

併した実感がなくて…。知り合いの議員もいないので、議会も身近ではないですね。美容師という仕事が好きで、仕事も趣味のようなもの。他にもほぼ毎日、夜は武道をやっていますが、今後も両立して続けていきたいですね。私は、元気に生きる、幸せに生きるって決めていっているんです。人が喜んでくれると自分も嬉しい。「ありがと(有難う)」の言葉のとおり、事柄に当たり前のことなんてない。日々感謝し元気に生きていこう!



やまざき きいちろう 山崎 喜一郎 さん(佐原イ)

美容師

ひらかわ ひろこ 平川 浩子 さん(岩部)㊦

のぐち ひろみ 野口 弘美 さん(沢)㊦

農業仲よし同級生

若

い人たちが、街が広くなり人口も増えて良かったと思います。市議会だよりは議員の活動を知る手がかりになっています。議員と直接会うのは選挙の時ぐらいです。還暦といわれても、若い気持ちは変わりませんし、一人とも農家で退職もなく、家族と常に一緒なので実感がなくて、仕事に追われていますよ。知人が農業体験に来たりもするので、農業に興味のある人はいます。市には農業をバックアップしてほしいですね。



貴重な意見を市政へ

市議会は、地域の皆さんの意見を伺う窓口でもあります。今回のインタビューで頂いた意見等を真摯に受け止め、市民に寄り添った市議会、そして、皆さんの声を市政へ反映させる施策を提言していきます。